

めっかりもーさん！

編集発行 熊毛支庁農林水産部農政普及課
西之表市西之表7590(TEL22-0053,22-0742/FAX22-1729)

(年3回発行)

普及活動 この1年

コロナ禍のなか研修会等は例年どおり実施できない状況でしたが、種子島の現状を踏まえた2つの課題を工夫しながら普及活動を展開してきました。その一部を紹介します。

1 種子島地域の農業を支える担い手の確保

新規就農者の定着に向けた現地検討会、青年農業者や女性農業者の資質向上や6次産業化推進、経営改善のための研修や個別相談等を実施し、種子島地域の農業を支える担い手の確保・育成に取り組みました。



新規就農者現地検討会（西之表市）



農業青年クラブ中間検討会



農村女性組織の活動検討会



加工技術等出前相談会



農業経営発展研修会



6次産業化推進研修会

2 競争力ある種子島農業リノベーション（革新）

○ さとうきび・原料用さつまいもの生産安定

さとうきびでは省力化資材である生分解性マルチの実証を、原料用さつまいもでは新品種「こないしん」の収量性、基腐病抵抗性の比較実証に取り組みました。



さとうきび秋植えでの生分解性マルチ実証



品種比較（左シロユタカ、右こないしん）

○ 活力ある花き産地の育成

レザーリーフファンの産地維持に関する意見交換や対策の検討、また、フェニックスロベレニーや新品目の産地化に取り組みました。



レザーリーフファンの目揃え会



生産者リーダーの意見交換会



枝物の現地検討会

○ 果樹の新技術・新品種の導入

種子島の特産果樹であるタンカン、マンゴー、パッションフルーツの技術支援に取り組みました。タンカンでは、摘果や冬季落葉の少ないトロイヤーシートレンジ台幼樹の管理、マンゴーでは、着花安定対策、パッションフルーツでは、育苗や収量向上技術等について支援しました。



マンゴー剪定講習会



タンカン摘果講習



パッションフルーツ研修会

○ 肉用牛・酪農生産基盤の維持

肉用牛及び酪農生産基盤の維持のため、新規就農者への技術支援や規模拡大志向農家の経営計画支援、ICT機器の導入効果検証、自給飼料確保対策等に取り組みました。



新規就農者への技術支援



ICT機器導入農家の視察研修



ツマジロクサヨトウ被害調査

○ 茶の生産安定技術の確立

一番茶の収量と品質に大きく影響する夏期の摘採を重点的に検討しました。また、高品質な茶づくりと生産コスト削減、新規販路開拓などにも取り組みました。



茶整枝試験



出品茶摘採



今後の茶業についての検討会

○ スマート農業の取組

管内農業の省力化を図るため、関係機関・団体と連携してスマート農業機械・機器の普及、実証に取り組みました。ドローンについては農薬散布の受託組織(さつまいも、水稻など)の活動も支援しました。



ドローンオペレーター養成支援



普及が進む農業用ドローン



畜産ICT機器（発情発見装置）

○種子島安納いものブランド化に向けた生産工程の改善

種子島安納いもの生産・販売体制の検討や種子島安納いも産地ビジョンに基づきG I登録にむけた取組を行いました。また、基腐病については、関係機関・団体とプロジェクトチームを設立し、安定生産が図れるよう対策に取り組みました。



K-GAP現地調査（カウンセリング）



安納紅新系統実証



基腐病プロジェクトチーム会



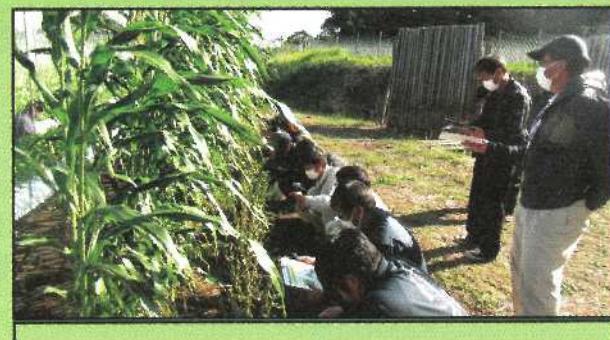
さつまいも基腐病研修会

○ 重点野菜の技術力向上支援

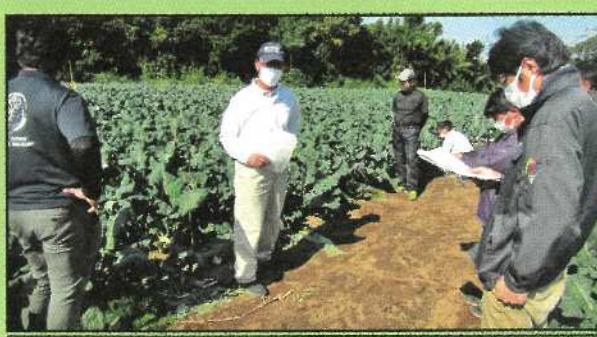
重点品目のスナップえんどう、ばれいしょの生産安定対策技術・普及を図り、ブロッコリーの大規模モデル経営体を育成するため、実証活動、検討会等を開催しました。



スナップえんどうの樹勢維持対策等の指導



スナップえんどうのIPM実践ほ場で天敵確認



ブロッコリーの継続安定生産に向けた検討会



関係機関・団体と連携した技術改善検討会